

質疑・回答書

告示番号		第44号	件 名	平成28年度小曾根第1ポンプ場No.1雨水ポンプ設備更新工事
No	質疑事項			回 答
1	特記仕様書P9 No.1雨水ポンプは既設横軸ポンプから立軸ポンプへの更新であります。床荷重に制約がありましたら、ご教示のほど、お願いします。			設計時に床荷重6t／㎡までの安全性は確認しています。
2	特記仕様書P9 先行待機形のポンプであります。水位条件(排水開始水位、排水停止水位、100%排水水位等)が決まっておりますら、ご教示願います。			詳細は後日協議となりますが、現状排水開始水位は吸水井底から3.1m、排水停止水位は同1.8mで100%排水水位は仕様点です。
3	特記仕様書P9 減速機搭載の形式は、「一体式」「内蔵式」「着脱式」から選定できるものと考えます。			下水道事業団標準仕様書にある減速機搭載型のことです。
4	特記仕様書P11 水中軸受は「セラミックス軸受または同等品」とあります。外部注水が不要の樹脂製軸受の採用を考えております。			詳細は後日協議となりますが、無注水式樹脂製軸受も可とします。

質疑・回答書

告示番号		第44号	件 名	平成28年度小曾根第1ポンプ場No.1雨水ポンプ設備更新工事
No	質疑事項			回 答
5	図面M-6 更新断面図(2) 既設計量口32Aに新設重油タンク液位計を据付ける事で、計量口は無しで宜しいでしょうか。 又、40A SGP燃料油管(フランジ蓋止め)の目的を御教示ください。プロテクタ脇に埋め込む為には嵩上げが必要と思われますが、プロテクタも交換で考えれば宜しいでしょうか。			液位計の取付座は特記仕様書の通りです。 フランジ蓋止めの目的は将来更新用です。 嵩上げは必要です。交換が必要であれば交換を行ってください。
6	図面M-2、M-7更新、撤去フローシート 受入口65Aの位置が、撤去時と更新時で設置位置が異なりますが移設するのでしょうか。			撤去フローが誤りで、65Aの受け入れ口の位置は変わりません。
7	ポンプ井、吐出井にて作業する場合は降雨確立や事前の情報による施工制限等がありますでしょうか。 又、作業するに当って浚渫が必要な場合は別途協議で考えれば宜しいでしょうか。			作業は乾季(11月～4月)かつ晴天時のみとします。 吸水井、吐出井の排水はポンプ場設備で引けるだけ引きますが、残りは工事に含むものとします。

豊中市総務部契約検査課 TEL 06-6858-2075
 FAX 06-6858-7225
 E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp